

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成26年11月6日(2014.11.6)

【公開番号】特開2014-180399(P2014-180399A)  
 【公開日】平成26年9月29日(2014.9.29)  
 【年通号数】公開・登録公報2014-053  
 【出願番号】特願2013-56383(P2013-56383)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月9日(2014.9.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

変動表示を行って表示結果を導出する変動表示手段に予め定められた特定表示結果が導出されたときに、遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御する遊技機であって、

変動表示を開始するときに、変動表示における特定変動表示の実行態様と、変動表示における前記特定変動表示以外の変動表示の実行態様とを決定する開始時決定手段と、

前記開始時決定手段による決定前に、前記特定変動表示の実行態様を判定する始動時判定手段と、

前記開始時決定手段により決定された前記特定変動表示以外の変動表示の実行態様に関する第 1 コマンドと、前記開始時決定手段により決定された前記特定変動表示の実行態様に関する第 2 コマンドとを送信するコマンド送信手段と、

前記コマンド送信手段から送信される前記第 1 コマンドと前記第 2 コマンドにもとづいて前記変動表示手段における変動表示を制御する変動表示制御手段と、

未だ開始されていない変動表示について、保留情報として記憶可能な保留記憶手段と、

前記始動時判定手段による判定にもとづいて、前記第 2 コマンドに対応する事前コマンドを送信する事前コマンド送信手段と、

前記事前コマンドにもとづいて、保留情報に対応する変動表示について、前記特定変動表示の実行を示唆する先読み予告演出を実行する先読み予告演出実行手段と、

を備え、

前記遊技機はさらに、

所定の動作を行う可動部材と、

変動表示において前記可動部材を動作させる可動部材演出を実行する可動部材演出実行手段と、

前記可動部材演出が終了したときに、前記可動部材を予め定められた復帰位置に復帰させる復帰動作を実行する復帰動作実行手段と、

を備え、

前記変動表示制御手段は、前回実行された変動表示において前記可動部材演出が実行されていたときに、該可動部材演出の終了後に前記復帰動作が完了しているか否かに関わらず、新たな変動表示を開始可能であり、

前記復帰動作実行手段は、前記復帰動作の完了前に新たな変動表示が開始されたときに

、前記変動表示において前記可動部材演出が実行され得る最も早いタイミングまでに前記復帰動作を完了させる、  
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、変動表示を行って表示結果を導出する変動表示手段に予め定められた特定表示結果が導出されたときに、遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御するパチンコ遊技機等の遊技機に関する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

しかしながら、近年においては、変動表示演出装置において始動入賞に対応した変動表示が開始される前に、該変動表示においてスーパーリーチ等の特定の実行態様の特定演出が実行されるか否か等を事前に示唆する先読み予告演出を実行する遊技機が普及している。これに対して、特許文献 1 に記載の遊技機のように、制御コマンドを、変動表示の前半部分と変動表示の後半部分にそれぞれ分けて送信すると、先読み予告演出を実行する場合には、変動表示の前半部分と後半部分の双方の制御コマンドを先読みしなければならず、単一のコマンドを使用した場合に比較して、先読み予告演出を実行するための制御負荷が大きくなってしまいうという問題があった。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、このような問題点に着目してなされたもので、変動表示を指定する制御コマンドとして複数のコマンドを使用しても、先読み予告演出を実行するための制御負荷が大きくなってしまいうことのない遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

前記課題を解決するために、本発明の請求項 1 に記載の遊技機は、

変動表示を行って表示結果を導出する変動表示手段（例えば、演出表示装置 5）に予め定められた特定表示結果が導出されたときに、遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御する遊技機（パチンコ遊技機 1）であって、

変動表示を開始するときに、変動表示における特定変動表示（例えば、ノーマルリーチやスーパーリーチ）の実行態様と、変動表示における前記特定変動表示以外の変動表示の実行態様（例えば、滑りや擬似連の演出）とを決定する開始時決定手段（例えば、CPU 103 がステップ S 110 の特別図柄通常処理とステップ S 111 の変動パターン設定処理を実行する部分）と、

前記開始時決定手段による決定前に、前記特定変動表示の実行態様を判定する始動時判定手段（例えば、CPU 103が入賞時乱数値判定処理を実行する部分）と、

前記開始時決定手段により決定された前記特定変動表示以外の変動表示の実行態様に関する第1コマンド（前変動パターン指定コマンド）と、前記開始時決定手段により決定された前記特定変動表示の実行態様に関する第2コマンド（後変動パターン指定コマンド）とを送信するコマンド送信手段（例えば、CPU 103がステップS266とステップS271aを実行する部分）と、

前記コマンド送信手段から送信される前記第1コマンドと前記第2コマンドにもとづいて前記変動表示手段における変動表示を制御する変動表示制御手段（例えば、演出制御用CPU 120がステップS75の演出制御プロセス処理を実行する部分）と、

未だ開始されていない変動表示について、保留情報として記憶可能な保留記憶手段（例えば、第1特図保留記憶部151A及び第2特図保留記憶部151B）と、

前記始動時判定手段による判定にもとづいて、前記第2コマンドに対応する事前コマンド（例えば、変動カテゴリコマンド）を送信する事前コマンド送信手段（例えば、CPU 103がステップS465の処理を実行する部分）と、

前記事前コマンドにもとづいて、保留情報に対応する変動表示について、前記特定変動表示の実行を示唆する先読み予告演出を実行する先読み予告演出実行手段（例えば、演出制御用CPU 120がステップS161の先読み予告処理を実行する部分、および演出制御用CPU 120がステップS709を実行することで、変動カテゴリコマンドから特定される変動カテゴリが予告の実行可能カテゴリであることを条件に、予告の実行を決定する）と、

を備え、

前記遊技機はさらに、

所定の動作を行う可動部材（例えば、演出用表示装置5の周辺位置に設けられる役物）と、

変動表示において前記可動部材を動作させる可動部材演出を実行する可動部材演出実行手段（例えば、変動表示演出において役物を動作させて予告演出を行う部分）と、

前記可動部材演出が終了したときに、前記可動部材を予め定められた復帰位置に復帰させる復帰動作を実行する復帰動作実行手段（例えば、予告演出で動作位置にある役物を復帰位置に復帰させる復帰動作を行う部分）と、

を備え、

前記変動表示制御手段は、前回実行された変動表示において前記可動部材演出が実行されていたときに、該可動部材演出の終了後に前記復帰動作が完了しているか否かに関わらず、新たな変動表示を開始可能であり、

前記復帰動作実行手段は、前記復帰動作の完了前に新たな変動表示が開始されたときに、前記変動表示において前記可動部材演出が実行され得る最も早いタイミングまでに前記復帰動作を完了させる、

この特徴によれば、第2コマンドに対応する事前コマンドにもとづいて先読み予告演出が実行されるため、先読み予告演出を実行するための制御負荷を低減することができる。